令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称			授業の種類	履修区分	履修時期
IT入門			講義	必修	前期
学科	**学年**	**単位数**	**担当教員名**		**実務家教員**
ITプログラミング学科	1年	6単位	喜納　政美		

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
ITの初学者を想定し、まずはITを身近に感じてもらい、苦手意識を持たないようにする。併せて、ITの世界で欠かせない用語や考え方のイメージをつける。	

【教科書・参考書・教材等】

よくわかるマスター　ITパスポート試験対策＆過去問題集/富士通ラーニングメディア

【到達目標】

入門的なIT（ITパスポートの一部相当）の用語や考え方をイメージして説明できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	身近にあるIT	1	
2	コンピューター（ハードウェア）	2	
3	コンピューター（ソフトウェア）	3	
4	ネットワーク①	4	
5	ネットワーク②	5	
6	情報セキュリティ①	6	
7	情報セキュリティ②	7	
8	情報の扱い	8	
9	まとめ①	9	
10	開発プロセス	10	
11	プロジェクトマネジメント	11	
12	企業と法務の経営戦略	12	
13	まとめ②	13	
14	ITパスポート問題演習	14	
15	課題作成	15	

2020.04改訂
大阪バイオメディカル専門学校

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称			授業の種類	履修区分	履修時期
Linux入門			演習	必修	前期
学科	**学年**	**単位数**	**担当教員名**		**実務家教員**
ITプログラミング学科	1年	4単位	片山先生		

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
Linuxを大事にOSの特徴を知り、コマンド操作に慣れる。	

【教科書・参考書・教材等】

Linux標準教科書　宮原徹　ほか（著）
LPI-Japan
LinuxコマンドABCリファレンス　/　翔泳社
いちばんやさしいLinuxコマンド入門教室　/　ソーテック社

【到達目標】

Linuxの基本操作ができる

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	Linuxとは、環境構築の準備	1	
2	Linuxのインストール	2	
3	基本的なコマンド①	3	
4	基本的なコマンド②	4	
5	正規表現とパイプ	5	
6	基本的なコマンド2	6	
7	VIエディタ	7	
8	まとめ①	8	
9	管理者の仕事	9	
10	ユーザ権限とアクセス権	10	
11	シェルスクリプト	11	
12	ファイル管理	12	
13	まとめ②	13	
14	Webサーバーの構築	14	
15	学期末試験、振り返り	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称			授業の種類	履修区分	履修時期
Microsoft　office			演習	必修	前期
学科	**学年**	**単位数**		**担当教員名**	**実務家教員**
ITプログラミング学科	1年	2単位		伊藤　敬子	

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
システム開発のドキュメント作成を想定し、基本的なオフィスツールの操作を習得する。	

【教科書・参考書・教材等】

Excel2021基礎　office2021/Microsoft365対応（よく分かる）　富士通ラーニングメディア著　/　FOM出版
Excel以外は適宜、プリント等の資料を用意する。

【到達目標】

Microsoft　officeの基本操作ができる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	Microsoft　officeとは	1	
2	Excel ｜ Excelの基礎知識、データの入力	2	
3	Excel ｜ 表の入力	3	
4	Excel ｜ 数式の入力	4	
5	Excel ｜ 複数シートの操作、表の印刷	5	
6	Excel ｜ グラフの作成	6	
7	Excel ｜ データベースの利用	7	
8	Excel ｜ 便利な機能、総合問題	8	
9	まとめ	9	
10	PowerPoint ｜ PowerPointの基本操作	10	
11	PowerPoint ｜ プレゼンテーション資料の作成	11	
12	Word ｜ Wordの基本操作	12	
13	Word ｜ レポート作成	13	
14	学期末試験	14	
15	振り返り	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
SHゼミⅠ	演習	必修	通年

学科	学年	単位数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	1年	2単位	上田清隆	

【科目の目的】

信頼される社会人・組織人を目指して聞く力・考える力・理解する力・協力する力などの基礎力を身につけることを目指す

実務経験欄（実務家教員のみ記載）

【教科書・参考書・教材等】

基礎から学べる！　文章力ステップ
文章検　公式テキスト

【到達目標】

学内行事についての準備などを通じて、社会人・組織人としての基礎力を身につける

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	連絡事項他 アンケート	1	学内行事について
2	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	2	学内行事について
3	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	3	学内行事について
4	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	4	学内行事について
5	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	5	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
6	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	6	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
7	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	7	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
8	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	8	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
9	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	9	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
10	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	10	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
11	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	11	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
12	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	12	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
13	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	13	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
14	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	14	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
15	夏休みの注意事項説明	15	進級へ向けての注意事項説明

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称		授業の種類	履修区分	履修時期
Webページ制作		演習	必修	前期
学科	**学年**	**単位数**	**担当教員名**	**実務家教員**
ITプログラミング学科	1年	6単位	上田　清隆	○

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
HTML、CSS、JavaScriptを使って、簡単なWebページを作成できるようになる	ゲーム開発・ソフトウェア開発企業にてプログラミングからプランニングまで、制作に２０年以上従事

【教科書・参考書・教材等】

これからWebwpはじめる人のHTML＆CSS、JavaScriptのきほんのきほん　たにぐちまこと（著）/　マイナビ出版
MDN　Web Docs |ウェブ開発を学ぶ

【到達目標】

HTML、CSS、JavaScriptを使ってWebページを作成できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	Webの概要と環境構築	1	
2	Webサイトの計画とデザイン	2	
3	HTML①	3	
4	HTML②	4	
5	CSS①	5	
6	CSS②	6	
7	HTMLとCSSによるWebページ作成①	7	
8	HTMLとCSSによるWebページ作成②	8	
9	JavaScript①	9	
10	JavaScript②	10	
11	JavaScript③	11	
12	まとめ	12	
13	Webページ制作演習①	13	
14	Webページ制作演習②	14	
15	Webページ制作演習③	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
プログラミング入門	演習	必修	前期

学科	学年	単位数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	1年	10単位	浅野先生　宮田先生 上田先生	

【科目の目的】

プログラミングの初学者を想定し、まずはノーコードなどでプログラミング的思考を養う。その上で、コードを記述してプログラミングする力を養う。

実務経験欄（実務家教員のみ記載）

ゲーム開発・ソフトウェア開発企業にてプログラミングからプランニングまで、制作に２０年以上従事

【教科書・参考書・教材等】

すっきりわかるPython入門　翔泳社

【到達目標】

ノーコードやPythonで基本的なプログラミングを実装できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	プログラミングとツール	1	
2	ノーコードツールによるプログラミング（基本操作、入出力、変数、制御構文）	2	
3	ノーコードツールによるプログラミング（配列、繰り返し）	3	
4	ノーコードツールによるプログラミング（関数、外部プログラムの利用）	4	
5	ノーコードツールによるプログラミング（プログラム制作演習①）	5	
6	ノーコードツールによるプログラミング（プログラム制作演習②）	6	
7	Pythonによるプログラミング（特徴、環境構築、基本操作、データ型、演算、代入）	7	
8	Pythonによるプログラミング（配列、制御構文、繰り返し）	8	
9	Pythonによるプログラミング（関数）	9	
10	Pythonによるプログラミング（ライブラリ利用①）	10	
11	Pythonによるプログラミング（ライブラリ利用②）	11	
12	Pythonによるプログラミング（まとめ）	12	
13	Pythonによるプログラミング（プログラム制作演習①）	13	
14	Pythonによるプログラミング（プログラム制作演習②）	14	
15	Pythonによるプログラミング（プログラム制作演習③）	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
最新技術の活用と留意点	講義	必修	前期

学科	学年	単位数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	1年	1単位	上田清隆	○

【科目の目的】

社会ではAIを中心に新しい技術が活用されていること、利用にあたってはマナーを含めたリテラシーが求められることを認識し、様々なツールに触れる。

実務経験欄（実務家教員のみ記載）

ゲーム開発・ソフトウェア開発企業にてプログラミングからプランニングまで、制作に２０年以上従事

【教科書・参考書・教材等】

授業で使用する資料等は適宜用意。
【参考資料】
総務省　生成AIはじめの一歩～生成AIの入門的な使い方と注意点～
内閣サイバーセキュリティセンター 【一般利用者向け抜粋版】インターネットの安全・安心ハンドブックVer 5.10

【到達目標】

AIなどの新しい技術の動向を知り、ツールとして安全に活用できるようになる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	ガイダンス	1	
2	生成AIの体験①	2	
3	生成AIの体験②	3	
4	生成AIの概要	4	
5	AIの概要	5	
6	AIの体験	6	
7	生成AIの活用①	7	
8	生成AIの活用②	8	
9	まとめと演習①	9	
10	インターネット利用のリスクと対策①	10	
11	インターネット利用のリスクと対策②	11	
12	情報発信・公開のリスクと対策①	12	
13	情報発信・公開のリスクと対策②	13	
14	コミュニケーション上のリスクと対策	14	
15	まとめと演習②	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
就職対策SPI	講義	必修	通年

学科	学年	単位数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	1年	2単位	清水洋行	

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
就職活動において必要となるSPIの対策	

【教科書・参考書・教材等】

特定の教科書などは想定していない・各能力ごとに教材を準備して演習、確認テストに用いる

【到達目標】

言語・非言語の双方の科目において、SPIで求められる能力水準に達すること

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	言語・非言語の能力把握のための模擬試験	1	言語・非言語の能力把握のための模擬試験
2	言語・非言語の能力把握のための模擬試験	2	言語・非言語の能力把握のための模擬試験
3	能力ごとの対策問題・確認試験	3	能力ごとの対策問題・確認試験
4	能力ごとの対策問題・確認試験	4	能力ごとの対策問題・確認試験
5	能力ごとの対策問題・確認試験	5	能力ごとの対策問題・確認試験
6	能力ごとの対策問題・確認試験	6	能力ごとの対策問題・確認試験
7	能力ごとの対策問題・確認試験	7	能力ごとの対策問題・確認試験
8	能力ごとの対策問題・確認試験	8	能力ごとの対策問題・確認試験
9	能力ごとの対策問題・確認試験	9	能力ごとの対策問題・確認試験
10	能力ごとの対策問題・確認試験	10	能力ごとの対策問題・確認試験
11	能力ごとの対策問題・確認試験	11	能力ごとの対策問題・確認試験
12	能力ごとの対策問題・確認試験	12	能力ごとの対策問題・確認試験
13	能力ごとの対策問題・確認試験	13	能力ごとの対策問題・確認試験
14	能力ごとの対策問題・確認試験	14	能力ごとの対策問題・確認試験
15	能力判定のためのテスト	15	能力判定のためのテスト

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
就職準備（ビジネス能力開発）	講義	必修	通年

学科	学年	単位数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	1年	2単位	館先生	○

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
ビジネス知識やビジネスマナー、円滑なコミュニケーションの方法など基礎的な能力を身につける。 さまざまな状況に対応できる基礎知識に加え、文書作成や図表の理解などの仕事を想定した学習で実践力を修得する。	大学にてインターンシップ生へのマナー研修や検定対策講座、社会人を対象としたマナー講座などスキルアップおよびキャリア支援のための研修講座を担当。

【教科書・参考書・教材等】

2026年度版　ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト/日本能率協会マネジメントセンター
ビジネス能力検定ジョブパス3級公式問題集/日本能率協会マネジメントセンター

【到達目標】

社会人が身につけておくべきビジネス能力を有する（ビジネス能力検定3級相当）。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S，A，B，C，D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	ガイダンス、キャリアと仕事へのアプローチ	1	情報収集とメディアの活用1
2	仕事の基本となる8つの意識 コミュニケーションとビジネスマナーの基本	2	情報収集とメディアの活用2
3	仕事の基本となる8つの意識 コミュニケーション，ビジネスマナーの基本	3	ビジネス文書の役割と構成
4	指示の受け方と報告・連絡・相談	4	ビジネス文書（社内外文書・電子メール）
5	話し方と聞き方のポイント	5	ビジネス文書（社内外文書・電子メール） ビジネス用語テスト①
6	話し方と聞き方のポイント	6	統計・データの読み方・まとめ方 ビジネス用語テスト②
7	来客応対と訪問の基本マナー	7	情報収集とメディアの活用 ビジネス用語テスト③
8	ビジネスコミュニケーションの基本　総合復習問題	8	会社を取り巻く環境と経済の基本 ビジネス用語テスト④
9	ビジネスコミュニケーションの基本　総合復習問題 敬語テスト①	9	過去問題 ビジネス用語テスト⑤
10	仕事への取り組み方	10	過去問題 ビジネス用語テスト⑥
11	電話応対	11	過去問題
12	総合復習問題 敬語テスト②	12	過去問題
13	前期期末試験対策	13	過去問題
14	前期期末試験	14	後期期末試験
15	前期期末試験解説	15	後期期末試験解説 CBT方式受験について

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
SHゼミⅡ	演習	必修	通年

学科	学年	授業時数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	2年	60時間	上田清隆	

【科目の目的】

信頼される社会人・組織人を目指して聞く力・考える力・理解する力・協力する力などの基礎力を身につけることを目指す

実務経験欄（実務家教員のみ記載）

【教科書・参考書・教材等】

基礎から学べる！　文章力ステップ
文章検　公式テキスト

【到達目標】

学内行事についての準備などを通じて、社会人・組織人としての基礎力を身につける

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	連絡事項他 アンケート	1	学内行事について
2	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	2	学内行事について
3	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	3	学内行事について
4	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	4	学内行事について
5	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	5	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
6	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	6	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
7	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	7	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
8	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	8	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
9	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	9	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
10	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	10	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
11	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	11	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
12	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	12	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
13	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	13	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
14	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）	14	連絡事項他（必要に応じて外部講師を招聘する場合あり）
15	夏休みの注意事項説明	15	進級へ向けての注意事項説明

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
オブジェクト指向プログラミングとWebアプリケーション開発Ⅰ	演習	必修	前期

学科	学年	授業時数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	2年	150時間	浅野先生　中尾先生 宮田先生	

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
プログラミング経験者を想定し、オブジェクト指向のプログラミング力を養う。その上で、フレームワークによるWebアプリケーション開発を行う。	

【教科書・参考書・教材等】

独習Java（翔泳社）
Spring Boot 3 プログラミング入門（秀和システム新社）

【到達目標】

Javaで基本的なプログラミングを実装できる。オブジェクト志向プログラミングを扱える。
API、ミドルウェア、フレームワークを使ってJavaでWebアプリケーションを開発できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	イントロダクション、Javaの基本、演算子、制御構文、標準ライブラリ、コレクションフレームワーク①	1	
2	イントロダクション、Javaの基本、演算子、制御構文、標準ライブラリ、コレクションフレームワーク②	2	
3	オブジェクト指向構文－基本①	3	
4	オブジェクト指向構文－基本②	4	
5	オブジェクト指向構文－カプセル化/継承/ポリモーフィズム①	5	
6	オブジェクト指向構文－カプセル化/継承/ポリモーフィズム②	6	
7	オブジェクト指向構文－入れ子のクラス/ジェネリクス/例外処理など①	7	
8	オブジェクト指向構文－入れ子のクラス/ジェネリクス/例外処理など②	8	
9	ラムダ式/Stream　API、高度なプログラミング、まとめ①	9	
10	ラムダ式/Stream　API、高度なプログラミング、まとめ②	10	
11	プログラム制作演習①	11	
12	プログラム制作演習②	12	
13	プログラム制作演習③	13	
14	プログラム制作演習④	14	
15	中間発表	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
オブジェクト指向プログラミングとWebアプリケーション開発Ⅱ	演習	必修	前期

学科	学年	授業時数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	2年	150時間	浅野先生　中尾先生 宮田先生	

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
プログラミング経験者を想定し、オブジェクト指向プログラミングの力を養う。その上で、フレームワークによりWebアプリケーションの開発を行う。	

【教科書・参考書・教材等】

【到達目標】

Jabade基本的なプログラミングを実装できる。オブジェクト指向プログラミングを扱える。
API、ミドルウェア、フレームワークを使ってJabaでWebアプリケーションを開発できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	JavaによるWebアプリケーション開発①	1	
2	JavaによるWebアプリケーション開発②	2	
3	JavaによるWebアプリケーション開発③	3	
4	JavaによるWebアプリケーション開発④	4	
5	JavaによるWebアプリケーション開発⑤	5	
6	JavaによるWebアプリケーション開発⑥	6	
7	まとめ①	7	
8	まとめ②	8	
9	Webアプリケーション開発演習①	9	
10	Webアプリケーション開発演習②	10	
11	Webアプリケーション開発演習③	11	
12	Webアプリケーション開発演習④	12	
13	Webアプリケーション開発演習⑤	13	
14	Webアプリケーション開発演習⑥	14	
15	制作発表	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称		授業の種類	履修区分	履修時期
クラウド入門		演習	必修	前期
学科	**学年**	**授業時数**	**担当教員名**	**実務家教員**
ITプログラミング学科	2年	90時間	上田　清隆	○

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
クラウド入門の特徴を踏まえた上で、適切にクラウドを利用できるようにする。	ゲーム開発・ソフトウェア開発企業にてプログラミングからプランニングまで、制作に２０年以上従事

【教科書・参考書・教材等】

【到達目標】

クラウド上に環境を構築できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	クラウドの概要と環境準備	1	
2	オブジェクトストレージの利用	2	
3	サーバーの構築	3	
4	ネットワークとセキュリティ	4	
5	Webサーバーの構築	5	
6	アプリケーションプラットフォームの利用	6	
7	リレーショナルデータベースサービスの利用	7	
8	まとめ	8	
9	サーバレスコンピューティングの利用	9	
10	APIゲートウェイの利用	10	
11	NoSQLd－田ベースサービスの利用	11	
12	その他サービスの利用	12	
13	クラウド開発演習①	13	
14	クラウド開発演習②	14	
15	クラウド開発演習③	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
システム開発工程と設計	演習	必修	前期

学科	学年	授業時数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	2年	60時間	宮田先生	

【科目の目的】

実装だけでなく、ビジネスを踏まえた上での一連の開発の流れを把握する。また代表的な計画書を読み書きできるようにする。

実務経験欄（実務家教員のみ記載）

【教科書・参考書・教材等】

1週間でシステム開発の基礎が学べる本/インプレス

【到達目標】

獅子打てむ開発の全体像を説明できる。代表的なUMLを読み書きできる。基本的なデータモデリングができる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	システム開発の全体像	1	
2	要件定義工程	2	
3	ユースケース図、アクティビティ図、ステートマシン図①	3	
4	ユースケース図、アクティビティ図、ステートマシン図②	4	
5	設計工程	5	
6	クラス図とシーケンス図①	6	
7	クラス図とシーケンス図②	7	
8	ER図とデータモデリング①	8	
9	ER図とデータモデリング②	9	
10	ER図とデータモデリング③	10	
11	開発・実装工程	11	
12	テスト工程	12	
13	検収・運用・保守工程	13	
14	まとめ	14	
15	学期末試験、振り返り	15	

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
基本情報処理技術者試験対策	講義	必修	通年

学科	学年	授業時数	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	2年	180時間	與儀先生	

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
基本情報技術者試験の合格を目指し、基本的なITの知識の習得・定着を図る。	

【教科書・参考書・教材等】

よくわかるマスター　基本情報技術者試験　対策テキスト/FOM出版

【到達目標】

基本情報技術者試験に合格できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	基礎理論①	1	基礎理論①
2	基礎理論②	2	基礎理論②
3	コンピュータシステム①	3	コンピュータシステム①
4	コンピュータシステム②	4	コンピュータシステム②
5	技術要素①	5	技術要素①
6	技術要素②	6	技術要素②
7	技術要素③	7	技術要素③
8	開発技術①	8	開発技術①
9	開発技術②、プロジェクトマネジメント	9	開発技術②、プロジェクトマネジメント
10	サービスマネジメント、システム戦略	10	サービスマネジメント、システム戦略
11	経営戦略、企業と法務①	11	経営戦略、企業と法務①
12	企業と法務②	12	企業と法務②
13	まとめ	13	まとめ①
14	科目B]対策①	14	まとめ②
15	科目B対策②	15	科目B対策、学期末試験、振り返り

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称		授業の種類	履修区分	履修時期
就職準備（試験対策）		講義	必修	通年
学科	**学年**	**授業時数**	**担当教員名**	**実務家教員**
ITプログラミング学科	2年	60時間	水口先生	

【科目の目的】	実務経験欄（実務家教員のみ記載）
就職の試験（SPI・CAB）の代表的な問題と解法を身につける。	

【教科書・参考書・教材等】

これが本当のCAB・GABだ！2028年度版/講談社

【到達目標】

就職の試験（SPI・CAB）に合格できる。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	SPI非言語　推論①	1	SPI言語　二儀関係、熟語の意味、熟語の成り立ち
2	SPI非言語　推論②	2	SPI言語　語句の用法、文の並べ替え
3	SPI非言語　図表の読み取り	3	SPI言語　空欄補充、長文読解
4	SPI非言語　集合	4	CAB　法則性①
5	SPI　順列・組み合わせ	5	CAB　法則性②
6	SPI非言語　確率	6	CAB　法則性③
7	SPI非言語　料金の割引、損益算	7	CAB　命令表①
8	SPI非言語　分割払い・仕事算数	8	CAB　命令表②
9	SPI非言語　速さ	9	CAB　暗号①
10	SPI非言語　割合・比、代金の精算	10	CAB　暗号②
11	SPI非言語　資料の読み取り、長文読み取り計算	11	CAB　四則計算①
12	SPI非言語　整数の推測、グラフの領域①	12	CAB　四則計算②
13	SPI非言語　グラフの領域②	13	CAB　暗算
14	SPI非言語　物の流れと比率	14	学期末試験
15	SPI非言語　装置と回路	15	振り返り

令和8年度　シラバス 兼 授業計画書

科目名称	授業の種類	履修区分	履修時期
就職準備（書類作成・面接指導）	講義＆演習	必修	通年

学科	学年	単位	担当教員名	実務家教員
ITプログラミング学科	2年	60時間	野村　聡子	○

【科目の目的】

履歴書作成と面接の基本を学習することで、就職に要する一連の知識と技能の修得を目指す。

実務経験欄（実務家教員のみ記載）

企業において人材育成などに従事。以降、職業訓練校や専門学校などの人材教育に携わる。

【教科書・参考書・教材等】

就職内基本テキスト　他プリント資料

【到達目標】

①履歴書の基本の書き方を学び、手書きで書けるようになる。
②面接について理解し、面接の基本の流れとポイントが身につく。

【評価方法と基準】

出席（40点満点）、試験、成果発表、課題提出等の総合力（60点満点）の合計により、100点満点で採点し、各点数に応じて5段階（S、A、B、C、D）で評定する。

【授業計画】（通年科目は、前期・後期とも記載）

	前期		後期
1	オリエンテーション　・前期授業の進め方・ルール ・就活スケジュール	1	後期授業の進め方　業界・企業研究について
2	自己分析	2	求人票の見方　　業界・企業研究
3	自己分析	3	志望動機作成法
4	自己分析	4	志望動機作成
5	自己PR作成法	5	履歴書作成
6	自己PR作成	6	志望職種とガクチカついて
7	自己PR完成	7	面接の種類と心構え （入退室・お辞儀練習）
8	履歴書作成法	8	模擬面接練習 （グループ）
9	履歴書作成	9	模擬面接練習 （集団面接）
10	面接対策の基本　第一印象	10	模擬面接練習 （集団面接）
11	面接練習 （ロールプレイング）	11	模擬面接練習 （個人面接）
12	面接練習 （ロールプレイング）	12	模擬面接練習 （個人面接）
13	定期試験 （実技試験）	13	本試験 （実技試験）
14	定期試験 （実技試験）	14	本試験 （実技試験）
15	試験の振り返りと解説 前期授業の総括	15	試験の振り返りと解説 後期授業の総括